研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-161		17-058	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Shift in Drug vs Alcohol Prevalence in Milwaukee County Motor Vehicle Decedents, 2010-2016.

ミルウォーキー郡の自動車事故死亡（2010-2016 年）において薬物陽性者数がアルコール陽性者数を超えた

執筆者

Kiran A. Faryar, MD, MPH; Sara A. Kohlbeck, MPH; Sara J. Schreiber, BS

掲載誌

WMJ. 2018 Mar;117(1):24-28.

キーワード	PMID
自動車事故死亡、アルコール、薬物使用下運転	29677411

要　旨

目的：

米国ウィスコンシン州、ミルウォーキー郡の自動車事故（motor vehicle crash, MVC）死亡におけるアルコール及び非アルコール薬物が関与する割合を明らかにする。

方法：

2010-2016 年ミルウォーキー郡の自動車事故死亡者（以降、MVC 死者）の記録を後ろ向きに調査した。関与薬物はその化学組成と臨床作用により以下の 5 群に分類した：アルコール、コカインとその主要代謝産物のベンゾイルエクゴニン、オピオイド（訳注：モルヒネ様物質）、カンナビノイド（訳注：大麻様物質）、アンフェタミンおよびメタンフェタミン。MVC 死者血液検査にてこれらの物質が検出された場合に薬物陽性と判断した。

結果：

MVC 死者の 65%（113 人）がいずれか一つの薬物陽性であり、27%（47 人）が複数（2 つ以上）の薬物使用者であった。アルコールが最も高頻度の薬物であり（77 人、65%）、カンナビノイドが 2 番目であった（24 人、14%）。2010 年から 2016 年にかけてオピオイド陽性 MVC 死者が有意に増加した（増加勾配＝3.9, $P<0.01$）一方で、アルコールは同期間に減少していた（増加勾配＝－3.9, $P<0.05$）。2016 年は、非アルコール薬物陽性 MVC 死者がアルコール陽性 MVC 死者を上回った初めての年であった。

結論：

ミルウォーキー郡では 2016 年に初めて非アルコール薬物陽性 MVC 死者がアルコール陽性 MVC 死者を上回った。アルコール陽性 MVC 死者減少の努力は継続すべきであるが、アルコール以外の薬物使用下での運転に関し、より多くの注意を払う必要があり、そのことが MVC 死亡の予防に重要であろう。